

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型福祉事業所 つくしの里		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 25日		～ 2026年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 25日		～ 2026年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度身体障害児者に特化した医師や看護師が適正数配置されている。</li> <li>・利用者が急変した際は万全の体制が用意されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何事も早急に対応できるように他職種間での連携している。</li> </ul>	より快適なワークライフバランスを提供できるように職員の余裕のある配置ができるように上層部に働きかけている。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根ざした取り組みを多く取り入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の障害福祉課や地域の学校と繋がるよう定期的に連絡を取るようになっている。</li> </ul>	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広いワンフロアの為、利用者個々人が集中して活動できる場がない。令和7年度より始まった5領域プログラムを有効に実施するには、個々が集中して取り組める場所も必要。</li> </ul>	ワンフロアが広い為少数に分けて活動する場がない。	年齢や発達状況に合った支援をするには職員数を増やし、各種研修等に積極的に参加する機会を設けて5領域プログラムの充実を図る必要がある。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が少ない為、ワークライフバランスが上手く機能していない。</li> </ul>	必要最低限の職員配置の為	引き続き職員増員を図るなど工夫が必要。
3			